

## 議事概要

件 名	第 10 回 土気踏切勉強会		
開催年月日	2024年2月24日(土) 13時00分～15時00分	場 所	中峠集会所(※の町内会館) ※土気本町1組自治会、山の谷自治会、楓台自治会、梅が丘自治会
主 催 者	JR 千葉支社・千葉市		
出 席 者	JR 東日本千葉支社千葉保線設備技術センター、千葉市道路計画課 土気南中央町内会、土気本町1組自治会、美空台自治会、山の谷自治会、 楓台自治会、梅が丘自治会		
打 合 せ 内 容			
<p>1 開会挨拶</p> <p>2 議事</p> <p style="margin-left: 20px;">第9回勉強会資料の修正</p> <p style="margin-left: 40px;">資料の項目「(1)地元相談会の開催報告」</p> <p style="margin-left: 40px;">資料の項目「(2)今後の進め方について」</p>			
<p>&lt;説明内容&gt;</p> <p>資料の項目「(1)地元相談会の開催報告」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第9回勉強会でご指摘を受けた、相談会におけるご質問とその回答及びご意見を修正し、報告。</li> </ul> <p>資料の項目「(2)今後の進め方について」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・方針については、「周辺道路の整備」、「土気踏切の対応方針」の2項目に修正し、報告。</li> <li>・「今後の予定」のうち、説明会開催日と令和6年度以降の各項目の表現を修正し、報告。</li> </ul>			
<p>&lt;勉強会の結果&gt;</p> <p>資料の項目「(1)地元相談会の開催報告」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・質問・回答のNo.5の回答を修正する。</li> </ul> <p>資料の項目「(2)今後の進め方について」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「周辺道路の整備」のうち、短期的整備の方針内容については、自転車利用者の安全対策を検討する旨、資料に追記する。</li> </ul> <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本資料の再修正について、勉強会のメンバーである、「土気踏切の存続を願う市民の会」及び「大網街道の歩道拡幅を求める市民の会」の代表者に内容を最終確認して頂き、市のホームページに公表する。あわせて、自治会で資料を回覧頂く。</li> </ul> <p>意見交換内容は、次頁に記す。</p>			

<意見交換>

資料の項目「(1)地元相談会の開催報告」

**【地元からの意見】**

質問 No.5 の回答が不明瞭のため、地元が納得するよう修正してほしい。

**【JR、市からの所見】**

再考し、修正致します。

**【地元からの意見】**

質問 No.9 の回答が、「法の指定の有無にかかわらず、踏切利用者や乗客の安全を守るため、廃止する方針である」と表現されているが、対策すべき踏切は、法指定されて初めて進めていくのではないのか。

**【JR、市からの所見】**

法による基準に該当する踏切は、JR と市が協力して改良すべきものとして、指定されます。一方、土気踏切のように、法による基準には合致しなくとも、構造的な課題や周辺状況を踏まえ、対策が必要である場合は、法指定の有無にかかわらず、廃止を含めた対策に向けて協議を進めています。

資料の項目「(2)今後の進め方について」

**【地元からの意見】**

土気地区は、今後発展の余地があると思う。あすみが丘との交流も盛んになると思う。将来の交流の可能性も踏まえて、市には考えてもらいたい。

**【市からの所見】**

頂いたご意見も踏まえ、周辺道路の利便性や安全性をより向上できるよう、勉強会を通じて周辺道路の整備を進めていきたいと思えます。

**【地元からの意見】**

「周辺道路の整備」のうち、道路の拡幅整備の方針内容に、自転車の利用者の安全対策などの整備を行っていくと書いてあるが、短期的整備の内容にも記載いただきたい。

**【市からの所見】**

短期的整備の方針内容については、勉強会で意見交換しながら整備の方法を決めたいと考えているため、「自転車利用者の安全対策を検討する」と追記させていただきます。

その他

**【地元からの意見】**

土気踏切を数値的指標により危険度を表現できないか。説得材料になると思うが。

**【市からの所見】**

確かに説得材料にはなると思いますが、現時点、JR だけでなく他の鉄道事業者でも、踏切の危険性を、指標で数値化しているものはありません。指標化するにあたり、全国共通の基準が必要となります。土気踏切を評価するために、危険度の数値化は現実的ではありません。